

令和5年度自治体SDGsモデル事業選定都市へのコメント

<p>1</p>	<p>青森県 弘前市</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・象徴的なプロダクトで地域を活性化することに焦点を当てており評価できる。農産物の産品を対象にしたモデル事業は特徴的だと評価できる。単一品目を対象とした計画であり、明確さは評価でき、よくまとまっていると思料する。</li> <li>・りんごを軸に経済・社会・環境の3軸の循環が書き込まれており、優れた提案と評価できる。</li> <li>・社会面について、省力樹形栽培はユニバーサルデザインと言えらると思料する。熟練者以外の従事者や高齢者等、様々な人にとって職業の選択肢が広がると思料する。高齢者が次世代に引き継ぐまでの意欲を増進させるという意味で、農業の継承も担っていくものであると思料する。</li> <li>・りんご産業と他の社会経済活動、観光産業や食品加工等との連携のビジョンを期待する。ステークホルダーを巻き込み事業を実施していくことを期待する。</li> <li>・りんごという単一の農産物に依存することは、温暖化や異常気象により、持続可能性についてリスクがあるため、これらの影響を考慮した視点を加えることを期待する。</li> <li>・発想は素晴らしい。AI 化の電力を賄う方法、バイオマスガス発電の持続性や量といった視点や、りんごの生産消費チェーン、観光連携等りんごのチェーンで派生するイノベーションの具体的な検討が望まれる。</li> <li>・生産面だけでなく、市場・マーケット面からもりんごの需要がさらに拡大するための施策として、海外にのみ目を向けるのではなく、違う発想の視点も加わると、りんご産業が維持できるのではないかと思料する。作る側だけでなく、消費者と対話することも必要であると思料する。</li> <li>・社会的取組について、経済に焦点が当たり、生産増大、効率性の重視が中心となっているために、「社会」との接点がやや弱いと思料する。りんご産業の経済対策が社会の地域活動へ及ぼす波及効果の検討など、企業以外の取組の広がりの方策の検討が望まれる。</li> </ul>
<p>2</p>	<p>東京都 大田区</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの持続可能性との観点から「稼ぐ力」は重要である。「区内企業の「稼ぐ力」を向上させ、補助金等に頼らない形での自走を推進」との記載は的確であり、民間と力を合わせて事業を推進するという点は高く評価できる。</li> <li>・日本では複数企業の協業によるイノベーションが難しい状況にあるため、仲間まわし(地域内での分業体制)について長い歴史がある点は、素晴らしい強みであると思料する。</li> <li>・三側面の好循環が強く意識された計画である。食(貧困)、教育の取組も注目される。</li> <li>・日本の中心地としての役割だけでなく、海外との連携事業にも期待できる。</li> <li>・海外を視野に入れ持続的なイノベーションの仕組みを日本で作るという志を示し、日本のモデルとしてより海外に視点を置いた技術開発や人材交流などのプログラムの実践を強く期待する。</li> <li>・羽田空港を生かした全体計画、モデル事業であり、実現可能性が高いと思料する。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり大田の実績を土台に羽田を中心とした新産業振興へと舵を切る提案と 思料する。</li> <li>・HANEDA GLOBAL WINGS が日本のSDGsの拠点になると良いと思料する。</li> <li>・リスキリングなどにも取り組むと良いと思料する。</li> <li>・仲間回しや自治体コミュニティ力为目标と連動する指標を期待する。</li> <li>・HANEDA GLOBAL WINGS の規模を考えると、水素利活用以外にも様々な事業 について可能性があると思料する。羽田全体の意識付けのため、食料などを集め たバイオ燃料や食品ロスプロジェクトなど、より様々な取組を HANEDA GLOBAL WINGS で実施することを期待する。三側面の相乗効果がさらに期待できる。</li> </ul>
3	東京都 東村山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルを軸とする三側面の統合で工夫されている。既に実験的な実践もあり、 実現可能性も高いと思料する。</li> <li>・オープンラボは市民が核となったプロジェクト運営であり、市民同士のコラボが生 まれている中、市民が主体的に動いているのはSDGs的で評価できる。多摩地域 らしさを感じられる。</li> <li>・郊外都市の優位性を理解し、女性が活躍できるようにするための戦略は、興味 深く、着実に実践すれば効果が出てくると期待できる。</li> <li>・「子育てデジタルワンストップサービス」は注目される取組だが、他の取組との関 連性を明確にする必要がある。</li> <li>・デジタル田園都市国家構想を活用してオープンラボを運用しているのは魅力的 でよいが、市民や多くのステークホルダーが関わってくるため、工夫が必要である と思料する。</li> <li>・オープンラボ、エネルギー会社等の分野横断的なネットワークを期待する。</li> <li>・自律的好循環は地域経済の活性化を期待しているため、そのような視点につい ても注力されることを期待する。</li> </ul>
4	新潟県 佐渡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的でバランスのとれた提案と評価する。全体計画も盛り込んで記載している 印象であり、論理構成も評価できる。</li> <li>・共創プラットフォームや自然共生ラボがすでに起動しており、産官学の社会実装 と推進を期待する。</li> <li>・地域循環共生圏の取組を多数・多様なステークホルダーにより、自然共生ラボ を中心に実現しようとするものであり、実現可能性は高いと評価できる。</li> <li>・事業はデータベース、アクションポイント事業等幅広くバランスよく検討しており、 三側面の好循環が期待できる。自然再生ラボがエネルギー、観光産業等とどう 連関するかの説明を期待する。</li> <li>・官民連携共創プラットフォームにおける「民」は、多くの場合産業界や企業をイメ ージするため、住民を真ん中に配置するのであれば、名称で表現することの検討 が望まれる。</li> </ul>

5	石川県 野々市市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会でデジタルになじめない高齢者がいる中で、デジタル生活指数を設けているのは良い仕組みであると評価できる。自律的好循環についても、推進協議会や基金が設けられているため、実現性もあり具体的である。</li> <li>・ロジックモデルが活用されており、また、地域特性を生かして三側面での循環をつくり出そうとする提案であり、評価できる。</li> <li>・モニタリングやLWC指標の計測をデジタルネットワークを使って行うのであれば先進的であると思料する。</li> <li>・小中高等学校と大学間の連携を通して、三側面の統合的実現を目指しているプログラムという点で興味深い。</li> <li>・SDGs ゲーミフィケーションを素材とする取組は大きな可能性があり、それによる好循環も期待できる。小中高大連携という新しい発想にも期待する。</li> <li>・デジタル田園都市国家構想推進交付金でのデジタルワンストップサービス、デジタル地域通貨を活用する活動ハブとしてのオープンラボの説明が必要と思料する。スマートシティ競技化の企業の交流等、議論の担い手になるコンソーシアム、市民 NPO の参加等を期待する。</li> </ul>
6	福井県 大野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル事業のテーマ性が豊かで、好循環も期待できる。</li> <li>・儲かる農業、市民共働、星空を守る脱炭素化が、うまく循環できる提案であると思料する。</li> <li>・星空をシンボルとした自律的好循環の具体化に向けた意欲が伝わり、評価できる。</li> <li>・「観光を軸に稼ぐ新組織」は実働部隊であるとともに地域のステークホルダーをつなぐ重要な役割であるため、組織作りが形だけにならないように、具体的な組織体制、運営方法の検討を期待する。</li> <li>・自律的好循環の具体化に向けた取組において、星空観光が含まれていないため、SDGsの大きな目標である地域経済の活性化を具体的に落とし込んだ計画にすると良いと思料する。</li> <li>・観光以外の産業活性化の取組や、自治体等の地域組織、市民との情報連携についての検討を期待する。</li> </ul>
7	山梨県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップやリスクリングはSDGsの主旨に則しており高く評価する。産業振興も掲げているが、リスクリングの出口についても考えられている点も良いと思料する。「山梨らしさ」を意識しつつ、全国のモデルとなるキャリアアップ、リスクリングの事業を実施することを期待する。</li> <li>・今後に向けて、外国人労働者も含めた構想を期待する。</li> <li>・メディカル・デバイス・コドー、水素・燃料電池産業の基幹産業化、豊かさ共創社会、山梨ならではのリスクリングを企業連携で実現するための仕組みについての検討を期待する。</li> <li>・リスクリングは企業が実施するものであり、それを自治体が主導していく仕組みは評価できる。民間企業との連携により、自立を目指す提案であるが、実行力については、講座の準備を始め、誰が行うのか、資金をどうするのかを課題であると思料する。</li> </ul>

8	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パビリオンと地域をつなぐ取組であり高く評価できる。</li> <li>・経済的効果について、販売だけでなく実際に体験することで、世界に顧客ができるきっかけになると思料する。他県への波及も視野に入れて活動することを期待する。</li> <li>・大阪万博を舞台として全市町村を巻き込んだ積極的な SDGs プログラム実践であり、実効性は大きいと評価できる。113 の体験型地域プログラムは圧巻と評価できる。</li> <li>・広域自治体として素晴らしい取組と評価でき、小さな自治体に波及効果があると思料する。基礎自治体の参考になるような取組の推進が望まれる。</li> <li>・地域を訪問する仕組みは、一過性にしないための工夫として評価できる。</li> <li>・県が主導のため、共通の問題意識を併せて醸成することが望まれる。例えばエネルギーや交通、ごみ問題など、県単位で取組むことで成果が上がると思料する。魅力的な地域分散型のツアーだけでなく、共通基盤の改善や改革に向かうところも挑戦されることを期待する。</li> <li>・メタバースやサイバー空間を活用することにより、広域の人々が深い体験をすることができると思料する。</li> <li>・2030 年のあるべき姿と具体的な取組との関連性についての説明を期待する。</li> <li>・県内自治体との双方向の連携についての説明が必要であると思料する。</li> <li>・フィールドパビリオンのアウトリーチ展開のメカニズムについての説明を期待する。</li> <li>・自律的好循環には地域経済の活性化に焦点を当て、金融機関との連携を通じて地元企業を興すといったメカニズムを構築することが望ましいと思料する。</li> <li>・総花的で焦点が絞れていないと思料する。</li> </ul>
9	島根県 松江市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な事業、統合的な事業、相乗効果、自律的好循環についてよく整理されていると思料する。市長のリーダーシップに加え、市役所の体制づくりが必要であると思料する。</li> <li>・全体計画もモデル事業も丁寧に計画されている。実現可能性が高いと期待できる。</li> <li>・水、自然との共生によって国際観光都市を目指しており、ロジカルモデルの導入に加え、観光・意識改革・ブルーカーボン事業で好循環を目指していることが評価できる。モデル事業は宍道湖・中海などの豊かな水域を守る事業提案であり、評価できる。</li> <li>・コンソーシアムの形成、運営の準備状況と組織的なスキーム、その仕組みとうみづくりプロジェクト、ヘルスツーリズム、水の都のトリセツ、松江流ブルーアップサイクルなどの総合的な情報共有、運営連携の仕組みを期待する。</li> <li>・市民の参加のかたちが見えないため、具体的にどのように進めるのか枠組みを打ち出すと良いと思料する。</li> <li>・うみづくりという観点においては、マーケットについて考える必要がある。</li> </ul>
10	宮崎県 延岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル事業の三側面の取組について、広範囲にわたり工夫が見受けられる。特に、人材育成についての取組について評価できる。</li> <li>・SDGsの多様な分野での取組の、相乗効果を推進するスキームの、内外への発信を期待する。既に多くの具体的なアクションを他分野にわたって進めており、交流人口、移住人口の定着、企業誘致、教育効果の増進等の統合的な効果に</li> </ul>

		<p>つなげる枠組みを市内外に発信することで、SDGs未来都市、モデル事業の規範となることを期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市民力強化を通して三側面をつなぐ統合的実現を目指す方向性は興味深い。ただし、様々な取組がどのようにつながって効果を発揮するのかについて、具体的に可視化していくことが期待される。</li><li>・地域通貨の活用といったデジタル化の優位性があり、環境においても都市型下水道から単独型浄化槽への転換を図る等、現実的な事業提案で評価できる。</li><li>・デジタル田園都市国家構想、脱炭素先行地域、健康マイレージを束ねる地域通貨貨幣、活動団体の支援等を統合的に推進する事業の仕組みや、事業体の構成、自治体の関与の仕方、企業・市民の役割を明示いただきたい。</li><li>・社団法人延岡こども未来創造機構の役割について説明いただきたい。</li><li>・ワールドカフェの運営が中心的な取組になる理由について、説明があると良い。</li><li>・総花的に見えるため、SDGsに注力した見せ方を検討していただきたい。自律的好循環は、キャッシュフローといった経済の循環を意識する必要がある。金融機関との連携について、関係者以外も分かる形で示してほしい。</li><li>・具体的な事業は多くあるが、地方創生とのつながりや相乗的な効果が分かりにくく、統合的取組の見せ方が惜しいと感じる。</li><li>・統合的取組が、モデル事業の「統合」としては不安定であるため、更なる充実が必要であると思料する。「のべおか COIN」の取組により、経済・社会・環境がどのようにつながるか説明すると良い。</li><li>・モデル事業のうち、環境に関する取組を強化すると良いと思料する。</li></ul>
--	--	--